



いまこそ考えたい!

先の見えない時代を生き抜く

かしこい資産運用法

近頃は老若男女を問わず、資産運用に対する意欲の高い人が増えているようです。その背景や初心者におすすめの資産運用法について、読売新聞が運営するWebメディア「OTEKOMACHI」の山田恵美編集長が、ファイナンシャルプランナーの高山一恵さんに聞きました。

収入は増えにくいのに物価は上昇…若者たちを悩ませる「お金の不安」

資産運用を始める人が増えているようですが、高山さんはその理由をどうお考えですか？

日本では少子高齢化が進み続けていて、経済成長率も低くなっています。若い方たちからは「給料はあまり上がらないのに、税金や社会保障費は増えていくので将来が不安」といった話をよく聞きます。最近は物価も上がっていますから、金利の低い預貯金だけでお金を蓄えていると、実質のお金の価値は目減りをしていくわけです。こうした事情から、資産運用を考える人が増えているようです。

預貯金より高い利回りでお金を着実に増やしたい人に「個人向け国債」という選択肢も

初めて資産運用をするにあたっては、どんな準備をすればよいでしょうか？

資産運用を始める方には、まずお金を「①当面の生活費や急な出費に備えるお金」②3〜10年以内を使う予定のお金」③10年以上先に備えるためのお金」という3つのポケットに分類して管理することをおすすめしています。このうち②は結婚や留学、住宅購入のための初期費用などで、「預貯金よりはよい利回りで、使う時に大きく目減りするリスクの低い安全な商品」が理想的。適している商品としては「個人向け国債」が挙げられます。

- 1 元本割れなし
- 2 国が発行するから安心
- 3 毎月発行される
- 4 1万円から購入できる
- 5 最低金利は年率0.05%

個人向け国債のうれしいポイント

「国債」は国が発行する債券で、それを個人でも買いやすくしたのが「個人向け国債」です。元本割れがなく、1万円から購入できるので、資産運用の経験が浅い人にとっては「ちょうどよい商品」といえるでしょう。

意外とカンタン!? 購入は近くの金融機関で

「個人向け国債」はどこで買えるのですか？

皆さんのお近くの銀行や証券会社、郵便局などの金融機関で購入できます。変動金利型の「変動10年」と固定金利型の「固定5年」「固定3年」という3つの種類があるので、運用できる期間や金利の見通しにに応じて、ご自身に合ったものを選んでください。

若いうちからコツコツと備えあれば憂いなし!

先の見えにくい時代に生きる私たちは、お金とどう向き合えばよいのでしょうか？

資産運用について私のところへ相談に来られる方は、コロナ禍で急増しました。将来への不安が大きいあまり「お金を使えない」という方もいます。しかし、人生全体で考えたときに、お金を貯めるためだけに生きていくのは残念な気も。お金とよりよく付き合っていくためにも、まずはライフプランを考えてみることをおすすめします。

市場金利に応じて半年毎に金利が変わる「変動金利タイプ」

発行時の金利が満期まで変わらない「固定金利タイプ」

変動10 固定5 固定3

財務省

個人的イチオシ!

個人向け国債 JAPANESE GOVERNMENT BONDS

変動10 固定5 固定3



(左) ファイナンシャルプランナー 高山一恵さん

慶應義塾大学文学部卒。株式会社Money&You取締役。講演活動、執筆活動、相談業務を行い、女性の人生に不可欠なお金の知識を伝えている。『はじめての資産運用』(宝島社)など著多数。

(右) 読売新聞社 OTEKOMACHI 編集長 山田 恵美

慶應義塾大学法学部法律学科卒。2000年、読売新聞社に入社し、新潟支局、政治部などを経て2009年から文化部記者。文芸、放送、映画、論壇などの分野を取材し、2022年6月から現職。

